

千小スマイルガーデン

千福が丘小学校
学校運営協議会
第4号
2023.6.20

千福が丘小学校がコミュニティ・スクールとなって2年目に入りました。「地域全体で子どもを育む」という思いと、それを実現するための様々な取り組みは、着実に広がってきています。今年度も、地域と学校をネットワークでつなぎ、子どもたちの充実した学びを支えとともに地域の活性化を図り、このコミュニティ・スクールを促進するための活動を計画していきます。

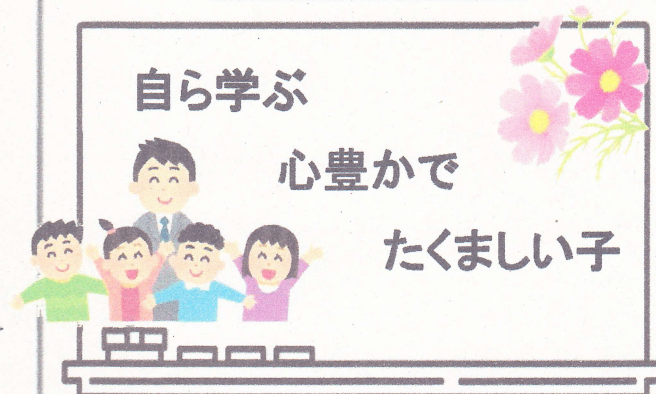
◆令和5年度 学校運営協議委員◆

- ・小俣 博 委員長 (千福が丘自治会 元会長)
- ・土屋 友治 (元 PTA 会長)
- ・田中 保夫 (スクールコーディネーター)
- ・増山 浩司 (元 PTA 会長)
- ・田中 久子 (地域代表)
- ・勝又 一仁 (千福が丘小校長)

千小 CS 担当 : 松井 雄一郎

CS ディレクター : マッグデイ 未来 (敬称略)

学校教育目標



※本年度の千福が丘小学校ランドデザインは
学校 HP でご覧になることができます。

第1回 学校運営協議会 開催

4月27日(水)、令和5年度第1回目の学校運営協議会が開催されました。校長先生より、今年度の学校経営方針についての説明のあと、同時に行われた授業参観の感想を述べあうとともに、これからの千小の子どもたちについて話し合ったところ、以下のような意見が出ました。

- ◆ 子ども一人一人の学びの速度や集中力に応じて、小規模クラスの特性を生かし、どうフォローしていけるか。
- ◆ 先生の言葉に対して、もっと声に出すなどリアクションをとれるような、元気のよい子が増えるとよいと思う。
- ◆ 一人一台の端末を持っていて、今の教育はすごいと感じる。大人になっても、たくましくひしゃげない子になってほしい。
- ◆ 5年、10年先、子どもたちが社会に出ていく頃には世の中がどうなっているのか分からない。だからこそ自ら考え、判断し、行動できる子を育む必要がある。自己有用感を高め、強みを作っていきたい。
- ◆ 特別支援学級が新設されたことによって、色々な子がいることを理解し、そして周りの子に思いを寄せられる子、共に学びあう子を育てていきたい。
- ◆ 子どもの理解に努め、それぞれに応じた指導を。指導・対応の仕方は子どもの数だけある。子どもをよく知ることが大事。
- ◆ 子どもたちには、外の世界に目を向け、公的なことにももっと興味を持ってもらいたい。日本の将来は今の子どもたちが担っていく。困難な状況にも耐えられる力をつける必要がある。

次回は9月を予定しています。子どもたちを中心に、地域と学校が連携を取り合い、小規模校ならではの良さを生かしながら教育活動を推進していくことは、千福が丘の明るい未来にもつながっていきます。ご理解とご協力をお願いします。